

◎ 社会保障に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定

(略称) ルクセンブルクとの社会保障協定

平成二十六年	十月	十日	東京で署名
平成二十七年	九月	十一日	国会承認
平成二十九年	五月	十五日	外交上の公文の交換
平成二十九年	五月	十七日	公布及び告示
平成二十九年	八月	一日	(条約第九号及び外務省告示第一七一号) 効力発生

目次	ページ
前文	五九五
第一部 総則	五九五
第一条 定義	五九五
第二条 この協定の適用範囲	五九七
第三条 この協定の適用を受ける者	五九八
第四条 待遇の平等	五九八
第五条 海外への給付の支払	五九八
第二部 適用法令に関する規定	五九九
第六条 一般規定	五九九
第七条 特別規定	五九九

第八 条	海上航行船舶又は航空機において就労する被用者	六〇〇
第九 条	外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員	六〇〇
第十 条	第六条から前条までの規定の例外	六〇一
第十一 条	配偶者及び子	六〇一
第十二 条	強制加入	六〇一
第三部	給付に関する規定	六〇一
第一章	共通規定	六〇一
第十三 条	通算	六〇一
第二章	日本国の給付に関する規定	六〇二
第十四 条	通算に関する特別規定	六〇二
第十五 条	障害給付及び遺族給付に関する特別規定	六〇二
第十六 条	給付の額の計算	六〇三
第十七 条	第四条の規定の例外	六〇四
第三章	ルクセンブルクの給付に関する規定	六〇四
第十八 条	参照期間の延長	六〇四
第十九 条	給付の計算	六〇四
第二十 条	ルクセンブルクの法令の特定の規定	六〇五
第二十一 条	任意に継続可能な疾病保険	六〇五
第四部	雑則	六〇五
第二十二 条	行政上の協力	六〇五
第二十三 条	手数料及び認証	六〇六
第二十四 条	連絡	六〇六

第二十五条	情報の伝達及び秘密性	六〇七
第二十六条	申請、不服申立て及び申告の提出	六〇七
第二十七条	給付の支払	六〇八
第二十八条	意見の相違の解決	六〇八
第二十九条	見出し	六〇八
第五部	経過規定及び最終規定	六〇八
第三十条	効力発生前の事実及び決定	六〇八
第三十一条	給付の額の改定、権利の喪失及び権利に係る時効	六〇九
第三十二条	効力発生	六〇九
第三十三条	有効期間及び終了	六一〇
末	文	六一〇

社会保障に関する日本国とルクセンブルク大公国との間の協定

日本国及びルクセンブルク大公国は、

社会保障の分野における両国間の関係を規律することを希望して、

次のとおり社会保障に関する協定を締結することに決定した。

## 第一部 総則

### 第一条 定義

#### 1 この協定の適用上、

(a) 「ルクセンブルク」とは、ルクセンブルク大公国をいう。

(b) 「国民」とは、次の者をいう。

日本国については、日本国の国籍に関する法律にいう日本国民

ルクセンブルクについては、ルクセンブルクの国籍を有する者

(c) 「法令」とは、次のものをいう。

日本国については、次条1に掲げる日本国の年金制度及び日本国の医療保険制度に関する日本国の法律及び規則

ルクセンブルクについては、次条2に掲げるルクセンブルクの社会保障の各部門に関する法律、規則及び実施細則

ルクセンブルクとの社会保障協定

## AGREEMENT BETWEEN JAPAN AND THE GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG ON SOCIAL SECURITY

Japan and the Grand Duchy of Luxembourg,  
Being desirous of regulating their mutual relations in  
the field of social security,

Have decided to conclude an agreement on social  
security as follows:

### PART I GENERAL PROVISIONS

#### Article 1 Definitions

##### 1. For the purpose of this Agreement,

(a) The term "Luxembourg" means the Grand Duchy of  
Luxembourg;

(b) The term "national" means,  
as regards Japan,  
a Japanese national within the meaning of the law  
on nationality of Japan,

as regards Luxembourg,  
a person of Luxembourg nationality;

(c) The term "legislation" means,  
as regards Japan,  
the laws and regulations of Japan concerning the  
Japanese pension systems and the Japanese health  
insurance systems specified in paragraph 1 of  
Article 2,  
as regards Luxembourg,  
the laws, regulations and statutory provisions  
concerning the branches of social security of  
Luxembourg specified in paragraph 2 of Article 2;

## ルクセンブルクとの社会保障協定

## 五九六

(d) 「権限のある当局」とは、次のものをいう。

日本国については、次条１に掲げる日本国の年金制度及び日本国の医療保険制度を管轄する政府機関

ルクセンブルクについては、ルクセンブルクの法令に関してそれぞれが責任を有する範囲内において各大臣

(e) 「実施機関」とは、次のものをいう。

日本国については、次条１に掲げる日本国の年金制度及び日本国の医療保険制度の実施に責任を有する保険機関（その連合組織を含む。）

ルクセンブルクについては、ルクセンブルクの法令の実施に関し、その全部又は一部について責任を有する機関、組織又は当局

(f) 「保険期間」とは、次のものをいう。

日本国については、日本国の法令のうち次条１(a)に掲げる日本国の年金制度に関するものによる保険料納付期間及び給付を受ける権利の確立に際して当該法令に基づき考慮されるその他の期間。ただし、社会保障に関する他の協定であつてこの協定と同種のものにより、当該法令による給付を受ける権利を確立するために考慮することとされた期間は、含めない。

ルクセンブルクについては、ルクセンブルクの法令により保険料納付期間と認められる期間及び保険料納付期間と同等のものと認められる期間

(d) The term "competent authority" means,

as regards Japan, any of the governmental organizations competent for the Japanese pension systems and the Japanese health insurance systems specified in paragraph 1 of Article 2,

as regards Luxembourg, the Ministers, to the extent that each Minister is responsible for the implementation of the legislation of Luxembourg;

(e) The term "competent institution" means,

as regards Japan, any of the insurance institutions, or any association thereof, responsible for the implementation of the Japanese pension systems and the Japanese health insurance systems specified in paragraph 1 of Article 2,

as regards Luxembourg, the institution, organization or authority responsible, in full or in part, for the implementation of the legislation of Luxembourg;

(f) The term "period of coverage" means,

as regards Japan, a period of contributions under the legislation of Japan concerning the Japanese pension systems specified in paragraph 1(a) of Article 2, and any other periods taken into account under that legislation for establishing entitlement to benefits,

however, a period which shall be taken into account, for the purpose of establishing entitlement to benefits under that legislation, pursuant to other agreements on social security comparable with this Agreement, shall not be included,

as regards Luxembourg, any period of contribution recognized as such, as well as any period recognized as equivalent to a period of contribution under the legislation of Luxembourg;

(g) 「給付」とは、一方の締約国の法令による年金その他の現金給付をいう。

2 この協定の適用上、この協定において定義されていない用語は、適用される法令において与えらるる意味を有するものとする。

第二条 この協定の適用範囲

この協定は、

1 日本国については、

(a) 次の日本国の年金制度について適用する。

(i) 国民年金（国民年金基金を除く。）

(ii) 厚生年金保険（厚生年金基金を除く。）

ただし、この協定の適用上、国民年金には、老齢福祉年金その他の福祉的目的のため経過的又は補充的に支給される年金であつて、専ら又は主として国庫を財源として支給されるものを含まない。

(b) 次の法律（その改正を含む。）により実施される日本国の医療保険制度について適用する。

(i) 健康保険法（大正十一年法律第七十号）

(ii) 船員保険法（昭和十四年法律第七十三号）

(iii) 国民健康保険法（昭和三十三年法律第九十二号）

(iv) 国家公務員共済組合法（昭和三十三年法律第二百二十八号）

(v) 地方公務員等共済組合法（昭和三十七年法律第五百十二号）

(vi) 私立学校教職員共済法（昭和二十八年法律第二百四十五号）

ルクセンブルクとの社会保障協定

(g) The term "benefit" means a pension or any other cash benefit under the legislation of a Contracting State.

2. For the purpose of this Agreement, any term not defined in this Agreement shall have the meaning assigned to it under the applicable legislation.

Article 2

Matters Covered

This Agreement shall apply,

1. as regards Japan,

(a) to the following Japanese pension systems:

(i) the National Pension (except the National Pension Fund); and

(ii) the Employees' Pension Insurance (except the Employees' Pension Fund);

however, for the purpose of this Agreement, the National Pension shall not include the Old Age Welfare Pension or any other pensions which are granted on a transitional or complementary basis for the purpose of welfare and which are payable wholly or mainly out of national budgetary resources; and

(b) to the Japanese health insurance systems implemented under the following laws, as amended:

(i) the Health Insurance Law (Law No. 70, 1922);

(ii) the Seamen's Insurance Law (Law No. 73, 1939);

(iii) the National Health Insurance Law (Law No. 192, 1958);

(iv) the Law Concerning Mutual Aid Association for National Public Officials (Law No. 128, 1958);

(v) the Law Concerning Mutual Aid Association for Local Public Officials and Personnel of Similar Status (Law No. 152, 1962);

(vi) the Law Concerning Mutual Aid for Private School Personnel (Law No. 245, 1953); and

ルクセンブルクとの社会保障協定

(vi) 高齢者の医療の確保に関する法律（昭和五十七年法律第八十号）

ただし、この協定の適用上、第五条、第十三条から第二十条まで、第二十六条、第二十七条、第三十条（3の規定を除く。）、第三十一条並びに第三十三条2及び3の規定は、(a)に掲げる日本国の年金制度に ついてのみ適用する。

2 ルクセンブルクについては、次のルクセンブルクの社会保障の各部門について適用する。

- (a) 老齢、障害及び遺族に関する年金保険
- (b) この協定の第二部の規定及び関連する規定に関し、疾病及び出産に係る保険、労働災害及び職業上の疾病に係る保険、介護保険、失業給付並びに家族給付

この協定は、第二十一条の規定の適用上、社会保障法典第一条について適用する。

この協定は、社会扶助又は戦争若しくはその結果による犠牲者のための給付の制度については、適用しない。

3 この協定は、両締約国の法令の全ての改正についても適用する。ただし、その改正が当該改正前の当該法令によって規律され、又は実施されていた制度の範囲を実質的に変更しない場合に限る。

第三条 この協定の適用を受ける者

この協定は、一方の締約国の法令の適用を受けているか又は受けたことがある全ての者並びにこれらの者に由来する権利を有する家族及び遺族について適用する。

第四条 待遇の平等

この協定に別段の定めがある場合を除くほか、前条に規定する者であって一方の締約国の領域内に通常居住するものは、当該一方の締約国の法令の適用に際し、当該一方の締約国の国民と同等の待遇を受ける。

待遇の平等

この協定の適用を受ける者

(vii) the Law Concerning the Security of Healthcare Treatment for Senior Citizens (Law No. 80, 1982);

however, for the purpose of this Agreement, Articles 5, 13 to 20, 26, 27, 30 (except for paragraph 3), 31 and paragraphs 2 and 3 of Article 33 shall only be applicable to the Japanese pension systems referred to in (a) of this paragraph; and

2. as regards Luxembourg, to the following branches of social security of Luxembourg:

- (a) the pension insurance in case of old-age, invalidity and survivorship; and
- (b) as regards Part II and relevant provisions in this Agreement, the sickness and maternity insurance, accidents at work and occupational diseases insurance, dependency insurance, unemployment benefits and family benefits;

for the purpose of Article 21 only, this Agreement shall apply to Article 2 of the Code of social security;

however, this Agreement shall not apply to social assistance or to benefit systems for victims of war or its consequences.

3. This Agreement shall also apply to all amendments to the legislations of both Contracting States insofar as they do not modify substantially the scope of the systems regulated or implemented by those prior to such amendments.

Article 3  
Persons Covered

This Agreement shall apply to all persons who are or have been subject to the legislation of a Contracting State, as well as family members or survivors who derive rights from such persons.

Article 4  
Equality of Treatment

Unless otherwise provided in this Agreement, the persons specified in Article 3, who ordinarily reside in the territory of a Contracting State, shall receive equal treatment with nationals of that Contracting State in the application of the legislation of that Contracting State.

第五条 海外への給付の支払

1 この協定に別段の定めがある場合を除くほか、一方の締約国の領域外に通常居住することのみを理由として給付を受ける権利の取得又は給付の支払を制限する当該一方の締約国の法令の規定は、他方の締約国の領域内に通常居住する者については、適用しない。

2 一方の締約国の法令による給付は、第三国の領域内に通常居住する他方の締約国の国民に対しては、その者が当該一方の締約国の国民であつた場合と同一の条件で支給する。

第二部 適用法令に関する規定

第六条 一般規定

この協定に別段の定めがある場合を除くほか、一方の締約国の領域内において被用者又は自営業者として就労する者については、その被用者又は自営業者としての就労に関し、当該一方の締約国の法令のみを適用する。

第七条 特別規定

1 一方の締約国の法令に基づく制度に加入し、かつ、当該一方の締約国の領域内に事業所を有する雇用者に当該領域内において雇用されている被用者が、当該雇用者のため他方の締約国の領域内において就労するために当該雇用者により当該一方の締約国の領域から派遣される場合には、その派遣の期間が五年を超えるものと見込まれないことを条件として、その被用者が当該一方の締約国の領域内において就労してゐるものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。

2 1の規定は、雇用者により一方の締約国の領域から第三国の領域に派遣されていた被用者が、その後、当該雇用者により当該第三国の領域から他方の締約国の領域に派遣される場合についても適用する。

Article 5  
Payment of Benefits Abroad

1. Unless otherwise provided in this Agreement, any provision of the legislation of a Contracting State which restricts entitlement to or payment of benefits solely because the person ordinarily resides outside the territory of that Contracting State shall not be applicable to persons who ordinarily reside in the territory of the other Contracting State.

2. Benefits under the legislation of a Contracting State shall be paid to nationals of the other Contracting State who ordinarily reside in the territory of the third state, under the same conditions as if they were nationals of the first Contracting State.

PART II  
PROVISIONS CONCERNING  
THE APPLICABLE LEGISLATION

Article 6  
General Provision

Unless otherwise provided in this Agreement, a person who works as an employee or a self-employed person in the territory of a Contracting State shall, with respect to that employment or self-employment, be subject only to the legislation of that Contracting State.

Article 7  
Special Provisions

1. Where an employee who is covered under the legislation of a Contracting State and employed in the territory of that Contracting State by an employer with a place of business in that territory is sent by that employer from that territory to work for that employer in the territory of the other Contracting State, that employee shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that employee were working in the territory of the first Contracting State, provided that the period of such detachment is not expected to exceed five years.

2. Paragraph 1 of this Article shall apply where an employee who has been sent by an employer from the territory of a Contracting State to the territory of the third state is subsequently sent by that employer from the territory of that third state to the territory of the other Contracting State.



3 一方の締約国の法令に基づく制度に加入し、かつ、当該一方の締約国の領域内において自営業者として通常就労する者が、他方の締約国の領域内においてのみ自営業者として一時的に就労する場合には、当該他方の締約国の領域内における自営活動の期間が五年を超えるものと見込まれないことを条件として、その者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。

4 1及び3の規定は、日本国の領域内に事業所を有する雇用者に当該領域内において雇用されている者又は日本国の領域内において自営業者として通常就労する者が、第一条1(a)に掲げる日本国の年金制度に加入していない場合には、適用しない。

第八条 海上航行船舶又は航空機において就労する被用者

1 いずれか一方の締約国の旗を掲げる海上航行船舶において被用者として就労し、かつ、この協定がないとしたならば両締約国の法令が適用されることとなる者については、その者が通常居住する締約国の法令のみを適用する。

2 国際運輸に従事する航空機において被用者として就労し、かつ、この協定がないとしたならば両締約国の法令が適用されることとなる者については、その雇用者が所在する締約国の法令のみを適用する。

第九条 外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員

1 この協定は、千九百六十一年四月十八日の外交関係に関するウィーン条約又は千九百六十三年四月二十四日の領事関係に関するウィーン条約の規定の適用を妨げるものではない。

2 1の規定に従うことを条件として、一方の締約国の公務員又は当該一方の締約国の法令において公務員として取り扱われる者が他方の締約国の領域内において就労するために派遣される場合には、その者が当該一方の締約国の領域内において就労しているものとみなして当該一方の締約国の法令のみを適用する。

3. Where a person who is covered under the legislation of a Contracting State and who ordinarily works as a self-employed person in the territory of that Contracting State, works temporarily as a self-employed person only in the territory of the other Contracting State, that person shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that person were working in the territory of the first Contracting State, provided that the period of the self-employed activity in the territory of the other Contracting State is not expected to exceed five years.

4. Paragraphs 1 and 3 of this Article shall not apply to a person who is employed in the territory of Japan by an employer with a place of business in that territory or who ordinarily works as a self-employed person in the territory of Japan, if that person is not covered under the legislation of Japan concerning the Japanese pension systems specified in paragraph 1(a) of Article 2.

Article 8  
Employees on Board a Sea-Going Vessel  
or on an Aircraft

1. Where a person works as an employee on board a sea-going vessel flying the flag of either Contracting State and would otherwise be subject to the legislation of both Contracting States, that person shall be subject only to the legislation of the Contracting State in whose territory that person ordinarily resides.

2. Where a person works as an employee on an aircraft in international traffic and would otherwise be subject to the legislation of both Contracting States, that person shall be subject only to the legislation of the Contracting State in whose territory the employer is located.

Article 9  
Members of Diplomatic Missions,  
Members of Consular Posts and Civil Servants

1. This Agreement shall not affect the provisions of the Vienna Convention on Diplomatic Relations of April 18, 1961, or the Vienna Convention on Consular Relations of April 24, 1963.

2. Subject to paragraph 1 of this Article, where any civil servant of a Contracting State or any person treated as such in the legislation of that Contracting State is sent to work in the territory of the other Contracting State, that person shall be subject only to the legislation of the first Contracting State as if that person were working in the territory of the first Contracting State.

海上航行船舶又は航空機に就労する者

外交使節団の構成員、領事機関の構成員及び公務員

第六條から前条までの規定の例外

両締約国の権限のある当局又はこれらの権限のある当局が指定する実施機関は、被用者及び雇用者の申請又は自営業者の申請に基づき、特定の者又は特定の範囲の者の利益のため、これらの特定の者又は特定の範囲の者にいずれか一方の締約国の法令が適用されることを条件として、第六條から前条までの規定の例外を認めることについて合意することができる。

第十一條 配偶者及び子

日本国の領域内において就労する者であつて、第七條、第九條又は前条の規定によりルクセンブルクの法令のみの適用を受けるものに行方する配偶者又は子については、社会保障に関する協定の実施に関する日本国の法令に定める要件を満たすことを条件として、第二條1(a)(i)に掲げる日本国の年金制度並びに同條1(b)(ii)及び(ii)に掲げる法律により実施される日本国の医療保険制度に関する日本国の法令の適用を免除する。ただし、当該配偶者又は子が別段の申出を行う場合には、この規定は、適用しない。

第十二條 強制加入

第六條から第八條まで、第九條2及び前条の規定は、各締約国の法令における強制加入についてのみ適用する。

第三部 給付に関する規定

第一章 共通規定

第十三條 通算

一方の締約国の実施機関は、自国の法令による給付を受ける権利の取得のための要件を満たすために十分な保険期間を有しない者について、当該給付を受ける権利を確立するため、自国の法令による保険期間と重複しない限りにおいて、他方の締約国の法令による保険期間を考慮する。

ルクセンブルクとの社会保障協定

Article 10  
Exceptions to Articles 6 to 9

At the request of an employee and an employer or a self-employed person, the competent authorities of both Contracting States or the competent institutions designated by those competent authorities may agree to grant an exception to Articles 6 to 9 in the interest of particular persons or categories of persons, provided that such persons or categories of persons shall be subject to the legislation of one of the Contracting States.

Article 11  
Spouse and Children

While a person works in the territory of Japan and is subject only to the legislation of Luxembourg in accordance with Article 7, paragraph 2 of Article 9 or Article 10, the spouse or children coming with that person shall be exempted from the legislation of Japan concerning the Japanese systems specified in paragraph 1(a) (i), (b) (iii) and (b) (vii) of Article 2, provided that the requirements specified in the legislation of Japan concerning the enforcement of the agreements on social security are fulfilled. However, when those spouse or children so request, the foregoing shall not apply.

Article 12  
Compulsory Coverage

Articles 6 to 8, paragraph 2 of Article 9 and Article 11 shall apply only to compulsory coverage under the legislation of each Contracting State.

PART III  
PROVISIONS CONCERNING BENEFITS

Chapter 1  
Common Provision

Article 13  
Totalization

Where a person does not have sufficient periods of coverage to fulfill the requirement for entitlement to benefits under the legislation of a Contracting State, the competent institution of that Contracting State shall take into account, for the purpose of establishing entitlement to those benefits, the periods of coverage completed under the legislation of the other Contracting State insofar as they do not coincide with the periods of coverage completed under the legislation of the first Contracting State.

ルクセンブルクとの社会保障協定

第二章 日本国の給付に関する規定

第十四条 通算に関する特別規定

通算に関する特別規定

1 前条の規定は、保険料の還付として支給される一時金については、適用しない。

2 前条の規定の適用に当たっては、ルクセンブルクの法令による保険期間は、厚生年金保険の保険期間及びこれに対応する国民年金の保険期間として考慮する。

第十五条 障害給付及び遺族給付に関する特別規定

障害給付及び遺族給付に関する特別規定

1 日本国の法令が、障害給付又は遺族給付（保険料の還付として支給される一時金を除く。以下「1」において同じ。）を受ける権利の確立のために初診日又は死亡日が特定の保険期間中にあることを要件として定めている場合において、初診日又は死亡日がルクセンブルクの法令による保険期間中にあるときは、これらの給付を受ける権利の確立に当たり当該要件は満たされたものとみなす。ただし、国民年金の法の障害給付又は遺族給付を受ける権利がこの条の規定を適用しなくても確立される場合には、この条の規定は、厚生年金保険の下での同一の保険事故に基づく障害給付又は遺族給付を受ける権利の確立に当たっては、適用しない。

2 第五条1の規定は、初診日又は死亡日において六十歳以上六十五歳未満であった者に関して障害基礎年金又は遺族基礎年金を受ける権利の取得のために日本国の領域内に通常居住していることを要件として定めた日本国の法令の規定の適用を妨げるものではない。

Chapter 2  
Provisions concerning Japanese Benefits

Article 14  
Special Provisions concerning Totalization

1. Article 13 shall not apply to the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions.

2. In applying Article 13, the periods of coverage under the legislation of Luxembourg shall be taken into account as periods of coverage under the Employees' Pension Insurance and as corresponding periods of coverage under the National Pension.

Article 15  
Special Provisions concerning Disability Benefits  
and Survivors' Benefits

1. Where the legislation of Japan requires for entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) that the date of the first medical examination or of death lies within specified periods of coverage, this requirement shall be deemed to be fulfilled for the purpose of establishing entitlement to those benefits if such a date lies within the periods of coverage under the legislation of Luxembourg. However, if entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) under the National Pension is established without applying this Article, this Article shall not be applied for the purpose of establishing entitlement to disability benefits or survivors' benefits (except the lump-sum payments equivalent to the refund of contributions) based on the same insured event under the Employees' Pension Insurance.

2. Paragraph 1 of Article 5 shall not affect the provisions of the legislation of Japan which require a person who is aged 60 or over but under 65 on the date of the first medical examination or of the death to reside ordinarily in the territory of Japan for the acquisition of entitlement to the Disability Basic Pension or the Survivors' Basic Pension.

第十六条 給付の額の計算

- 1 日本国の実施機関は、第十三条又は前条１の規定の適用により日本国の給付を受ける権利が確立される場合には、２から４までの規定に従うことを条件として、日本国の法令に従って当該給付の額を計算する。
- 2 障害基礎年金その他の保険期間にかかわらず一定額が支給される給付に関しては、当該給付を受けるための要件が第十三条又は前条１の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、当該給付が支給される年金制度における保険料納付期間及び保険料免除期間並びにルクセンブルクの法令による保険期間を合算した期間に対する当該保険料納付期間及び保険料免除期間を合算した期間の比率に基づいて計算する。
- 3 厚生年金保険の下での障害給付及び遺族給付（厚生年金保険における保険期間が日本国の法令上定められた期間に満たない場合に支給されるものであって、支給される給付の額が当該定められた期間に基づいて計算されるものに限る。）に関しては、これらの給付を受けるための要件が第十三条又は前条１の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、厚生年金保険における保険期間及びルクセンブルクの法令による保険期間を合算した期間に対する当該厚生年金保険における保険期間の比率に基づいて計算する。ただし、当該合算した期間が当該定められた期間を超える場合には、当該合算した期間は、当該定められた期間と同一の期間とする。

4 老齢厚生年金の一部である配偶者加給その他の給付であって、厚生年金保険における保険期間が日本国の法令上定められた期間に等しい場合又はこれを超える場合に一定額が支給されるものに関しては、当該給付を受けるための要件が第十三条の規定の適用により満たされる場合には、支給される当該給付の額は、当該定められた期間に対する厚生年金保険における保険期間の比率に基づいて計算する。

Article 16  
Calculation of the Amount of Benefits

1. Where entitlement to a Japanese benefit is established by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 15, the competent institution of Japan shall calculate the amount of that benefit in accordance with the legislation of Japan, subject to paragraphs 2 to 4 of this Article.
2. With regard to the Disability Basic Pension and other benefits, the amount of which is a fixed sum granted regardless of the period of coverage, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 15, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of the sum of the periods of contribution and the premium-exempted periods under the pension system from which such benefits will be paid to the sum of those periods of contribution, those premium-exempted periods and the periods of coverage under the legislation of Luxembourg.
3. With regard to disability benefits and survivors' benefits under the Employees' Pension Insurance, insofar as the amount of those benefits to be granted is calculated on the basis of the specified period determined by the legislation of Japan when the periods of coverage under the Employees' Pension Insurance are less than that specified period, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13 or paragraph 1 of Article 15, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of the periods of coverage under the Employees' Pension Insurance to the sum of the periods of coverage and the periods of coverage under the legislation of Luxembourg. However, when the sum of the periods of coverage exceeds that specified period, that sum of the periods of coverage shall be regarded as equal to that specified period.
4. With regard to the Additional Pension for Spouses which is included in the Old-age Employees' Pension and any other benefits that may be granted as a fixed sum in cases where the periods of coverage under the Employees' Pension Insurance equal or exceed the specified period determined by the legislation of Japan, if the requirements for receiving such benefits are fulfilled by virtue of Article 13, the amount to be granted shall be calculated according to the proportion of those periods of coverage under the Employees' Pension Insurance to that specified period.

ルクセンブルクとの社会保障協定

第十七条 第四条の規定の例外

第四条の規定は、日本国の領域外に通常居住することに基づいて日本国民に対して認められる合算対象期間に関する日本国の法令の規定の適用を妨げるものではない。

第三章 ルクセンブルクの給付に関する規定

第十八条 参照期間の延長

ルクセンブルクの法令が保険事故の発生前の特定の期間（参照期間）内に最低加入期間を満たして、給付を受ける権利の確立のための条件とし、かつ、この参照期間が特定の事実又は状況により延長されることを定めている場合において、当該事実又は状況は、それらが日本国の領域内で発生したときは、同様の効果を有する。

第十九条 給付の計算

1 第十三条の規定を適用することなくルクセンブルクの法令による老齢給付、障害給付又は遺族給付を受ける権利が確立される場合には、ルクセンブルクの実施機関は、ルクセンブルクの法令に従い、ルクセンブルクの法令により考慮される保険期間の合計期間に基づいて給付の額を計算する。また、当該実施機関は、2の規定の適用により得られるであろう老齢給付、障害給付又は遺族給付の額を計算し、これらの二つの額のうち高い方を考慮する。

2 第十三条の規定に基づく通算を考慮することにより初めてルクセンブルクの法令による老齢給付、障害給付又は遺族給付を受ける権利が確立される場合には、次の規定を適用する。

(a) ルクセンブルクの実施機関は、両締約国の法令による全ての保険期間がルクセンブルクの法令のみによる保険期間であるとした場合に支給される年金の理論上の額を計算する。

Article 17  
Exception to Article 4

Article 4 shall not affect the provisions on complementary periods for Japanese nationals on the basis of ordinary residence outside the territory of Japan under the legislation of Japan.

Chapter 3  
Provisions concerning Luxembourg Benefits

Article 18  
Extension of the Reference Period

Where the legislation of Luxembourg makes the entitlement to benefits conditional upon the completion of a minimum period of coverage during a specified period preceding the insured contingency (reference period) and lays down that certain facts or circumstances shall extend this reference period, those facts and circumstances shall have the same effect when they occur in the territory of Japan.

Article 19  
Calculation of Benefits

1. If a person is entitled to an old-age, invalidity or survivors' benefit under the legislation of Luxembourg without applying Article 13, the competent institution of Luxembourg shall calculate, according to the legislation of Luxembourg, the benefit on the basis of the total duration of periods of coverage to be taken account of by virtue of the legislation of Luxembourg. That institution shall also calculate the amount of the old-age, invalidity or survivors' benefit that would be obtained by applying the rules specified in paragraph 2 of this Article. Only the higher of these two amounts shall be taken into consideration.

2. If a person is entitled to an old-age, invalidity or survivors' benefit by virtue of the legislation of Luxembourg only by taking into account the totalization pursuant to Article 13, the following rules apply:

(a) the competent institution of Luxembourg shall calculate the theoretical amount of the pension due as if all the periods of coverage completed under the legislation of both Contracting States were exclusively completed under the legislation of Luxembourg;

(b) (a)に規定する理論上の額を決定するための計算の基礎は、ルクセンブルクの法令による保険期間を基準とすることにより初めて確立する。

(c) ルクセンブルクの実施機関は、(a)に規定する理論上の額に、而締約国の法令による全ての保険期間に対するルクセンブルクの法令による保険期間の比率を乗じて、支給すべき額を計算する。

第二十条 ルクセンブルクの法令の特定の規定

1 第十三条の規定は、年金を計算するに当たり、ルクセンブルクの法令に定める育児期間の認定について適用する。ただし、関係者が子の出生又は養子縁組の直前においてルクセンブルクの法令による保険期間を有していたことを条件とする。

2 他の社会保障の給付又は他の職業上の収入と重複する場合における給付の減額、停止又は取消しに関するルクセンブルクの法令の規定は、当該他の社会保障の給付を日本国の法令に基づいて受けている場合又は関連する職業上の活動が日本国の領域内において行われている場合であっても、受給者について適用する。

第二十一条 任意に継続可能な疾病保険

日本国の法令のみによる老齢給付、障害給付又は遺族給付の受給者であって、ルクセンブルクの領域内に居住するものは、ルクセンブルクの法令に従い、任意に継続可能な疾病保険に加入することができる。

第四部 雑則

第二十二条 行政上の協力

1 両締約国の権限のある当局は、

協行政上の協力

ルクセンブルクとの社会保障協定

(b) for determining the theoretical amount referred to in (a) of this paragraph, the basis for calculation is established by reference only to those periods of coverage completed under the legislation of Luxembourg; and

(c) the competent institution of Luxembourg shall then calculate the amount due, on the basis of the theoretical amount referred to in (a) of this paragraph, in proportion to the duration of the periods of coverage completed under the legislation of Luxembourg, in relation to the total duration of periods of coverage completed under the legislation of both Contracting States.

Article 20  
Particular Provisions of the Legislation  
of Luxembourg

1. When calculating a pension, Article 13 shall apply for the acknowledgement of the baby-years provided by the legislation of Luxembourg, under the condition that the person concerned last completed periods of coverage under the legislation of Luxembourg before the birth or adoption of the child.

2. The provisions of the legislations of Luxembourg concerning the reduction, suspension or withdrawal of benefits in cases of overlapping with other social security benefits or other professional income, shall be applied to the beneficiaries, even if such benefits are acquired under the legislation of Japan or if the related professional activities are exercised in the territory of Japan.

Article 21  
Optional Continued Sickness Insurance

Beneficiaries of an old-age, invalidity or survivors' benefit solely under the legislation of Japan and who reside in the territory of Luxembourg, may join the optional continued sickness insurance, according to the provisions of the legislation of Luxembourg.

PART IV  
MISCELLANEOUS PROVISIONS

Article 22  
Administrative Collaboration

1. The competent authorities of both Contracting States shall:



(a) この協定の実施のために必要な行政上の措置（締約国の法令による給付を受ける権利を確立するために必要な医療上の情報の提供を含む。）について合意する。

(b) この協定の実施のために連絡機関を指定する。

(c) 自国の法令の変更（この協定の実施に影響を及ぼすものに限る。）に関する全ての情報をできる限り速やかに相互に通報する。

2 両締約国の権限のある当局及び実施機関は、それぞれの権限の範囲内で、この協定の実施のために必要な援助を提供する。この援助は、無償で行う。

第二十三条 手数料及び認証

1 一方の締約国の法令その他関連する法律及び規則において、当該一方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書に係る行政上又は領事事務上の手数料の免除又は軽減に関して規定する場合には、これらの規定は、この協定及び他方の締約国の法令の適用に際して提出すべき文書についても適用する。

2 この協定及び一方の締約国の法令の適用に際して提出される文書については、外交機関又は領事機関による認証その他これに類する手続を要しない。

第二十四条 連絡

1 この協定の実施に際し、両締約国の権限のある当局及び実施機関は、相互に、及び関係者（その居住地を問わない。）に対して、日本語、ルクセンブルクの公用語のうちの一の言語又は英語により、直接に連絡することができる。

2 この協定の実施に際し、一方の締約国の権限のある当局及び実施機関は、他方の締約国の言語又は英語で作成されていることを理由として申請書その他の文書の受理を拒否してはならない。

(a) agree on the administrative measures necessary for the implementation of this Agreement, including provision of medical information necessary for establishing entitlement to a benefit under the legislation of a Contracting State;

(b) designate liaison agencies for the implementation of this Agreement; and

(c) communicate to each other, as soon as possible, all information about changes to their respective legislation insofar as those changes affect the implementation of this Agreement.

2. The competent authorities and competent institutions of both Contracting States, within the scope of their respective authorities, shall provide any assistance necessary for the implementation of this Agreement. This assistance shall be provided free of charge.

Article 23

Charges or Fees and Legalization

1. Insofar as the legislation and other relevant laws and regulations of a Contracting State contain provisions on an exemption or reduction of administrative charges or consular fees for documents to be submitted under the legislation of that Contracting State, those provisions shall also apply to documents to be submitted in the application of this Agreement and the legislation of the other Contracting State.

2. Documents which are presented for the purpose of this Agreement and the legislation of a Contracting State shall not require legalization or any other similar formality by diplomatic or consular authorities.

Article 24

Communication

1. In implementing this Agreement, the competent authorities and competent institutions of both Contracting States may communicate directly in Japanese, in one of the official languages of Luxembourg or in English language with each other and with any concerned person wherever the person may reside.

2. In implementing this Agreement, the competent authorities and competent institutions of a Contracting State may not reject applications or any other documents for the reason that they are written in the language of the other Contracting State or in English language.

第二十五条 情報の伝達及び秘密性

1 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、当該一方の締約国の法令の下で収集された個人に関する情報（この協定の実施のために必要なものに限る。）を当該一方の締約国の法律及び規則に従って他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。当該他方の締約国の法律及び規則により必要とされない限り、当該情報は、この協定を実施する目的のためにのみ使用する。

2 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、他方の締約国の権限のある当局又は実施機関の要請がある場合には、当該一方の締約国の法令の下で収集された個人に関する情報であつて、1に規定する情報以外の情報（当該他方の締約国の法令の実施のために必要なものに限る。）を当該一方の締約国の法令その他関連する法律及び規則に従って、当該他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する事ができる。当該他方の締約国の法律及び規則により必要とされない限り、当該情報は、当該他方の締約国の法令を実施する目的のためにのみ使用する。

3 一方の締約国が受領する1及び2に規定する情報は、個人に関する情報の秘密の保護のための当該一方の締約国の法律及び規則により規律される。

第二十六条 申請、不服申立て及び申告の提出

1 一方の締約国の法令に基づく文書による給付の申請、不服申立てその他申告が他方の締約国の法令に基づく類似の申請、不服申立てその他申告を受理する権限を有する当該他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出された場合には、当該給付の申請、不服申立てその他申告については、その提出の日当該一方の締約国の権限のある当局又は実施機関に対して提出されたものとみなすものとし、当該一方の締約国の手続及び法令に従って取り扱う。

Article 25  
Transmission and Confidentiality of Information

1. The competent authorities or competent institutions of a Contracting State shall, in accordance with its laws and regulations, transmit to the competent authorities or competent institutions of the other Contracting State information about an individual collected under the legislation of that Contracting State insofar as that information is necessary for the implementation of this Agreement. Unless otherwise required by the laws and regulations of that other Contracting State, that information shall be used exclusively for the purpose of implementing this Agreement.

2. The competent authorities or competent institutions of a Contracting State may, upon the request of the competent authorities or competent institutions of the other Contracting State, transmit, in accordance with the legislation and other relevant laws and regulations of that Contracting State, information about an individual other than that referred to in paragraph 1 of this Article collected under the legislation of that Contracting State, to the competent authorities or competent institutions of that other Contracting State insofar as it is necessary for the implementation of the legislation of that other Contracting State. Unless otherwise required by the laws and regulations of that other Contracting State, that information shall be used exclusively for the purpose of implementing that legislation of that other Contracting State.

3. Information referred to in paragraphs 1 and 2 of this Article received by a Contracting State shall be governed by the laws and regulations of that Contracting State for the protection of confidentiality of personal data.

Article 26  
Submission of Applications, Appeals and Declarations

1. When a written application for benefits, an appeal or any other declaration under the legislation of a Contracting State is submitted to a competent authority or competent institution of the other Contracting State which is competent to receive similar applications, which is competent to receive similar applications, appeals or declarations under the legislation of that other Contracting State, that application for benefits, appeal or declaration shall be deemed to be submitted on the same date to the competent authority or competent institution of the first Contracting State and shall be dealt with, according to the procedure and legislation of the first Contracting State.



2 一方の締約国の権限のある当局又は実施機関は、1の規定に従って提出された給付の申請、不服申立てその他申告を遅滞なく他方の締約国の権限のある当局又は実施機関に伝達する。

第二十七条 給付の支払

この協定に係る給付の支払は、いずれの締約国の通貨によっても行うことができる。いずれか一方の締約国が外国為替取引又は海外送金を制限する措置を実施する場合には、両締約国の政府は、この協定に基づく当該一方の締約国による給付の支払を確保するために必要な措置について、直ちに協議する。

第二十八条 意見の相違の解決

この協定の解釈又は適用についての意見の相違は、両締約国間の協議により解決する。

第二十九条 見出し

この協定中の部、章及び条の見出しは、引用上の便宜のためにのみ付されたものであり、この協定の解釈に影響を及ぼすものではない。

第五部 経過規定及び最終規定

第三十条 効力発生前の事実及び決定

1 この協定は、その効力発生前に給付を受ける権利を確立させるものではない。

2 この協定の実施に当たっては、この協定の効力発生前の保険期間及び他の法的に関連する事実についても、考慮する。

3 第七条1又は3の規定の適用に当たっては、この協定の効力発生前から一方の締約国の領域内で就労していた者については、同条1に規定する派遣の期間及び同条3に規定する自営活動の期間は、この協定の効力発生の日に開始したものとみなす。

2. The competent authority or competent institution of a Contracting State shall send the application for benefits, appeal or any other declaration submitted in accordance with paragraph 1 of this Article to the competent authority or competent institution of the other Contracting State without delay.

Article 27  
Payment of Benefits

Payments of benefits under this Agreement may be made in the currency of either Contracting State. In case provisions for restricting the exchange of currencies or remittance are introduced by either Contracting State, the Governments of both Contracting States shall immediately consult on the measures necessary to ensure the payments of benefits by that Contracting State under this Agreement.

Article 28  
Resolution of Disagreement

Any disagreement regarding the interpretation or application of this Agreement shall be resolved by consultation between the Contracting States.

Article 29  
Headings

The headings of Parts, Chapters and Articles of this Agreement are inserted for convenience of reference only and shall not affect the interpretation of this Agreement.

PART V  
TRANSITIONAL AND FINAL PROVISIONS

Article 30

Events and Decisions prior to the Entry into Force  
1. This Agreement shall not establish any entitlement to benefits for any period prior to its entry into force.

2. In the implementation of this Agreement, periods of coverage completed before its entry into force as well as other legally relevant events occurring before its entry into force shall also be taken into account.

3. In applying paragraph 1 or 3 of Article 7, in the case of a person who has been working in the territory of a Contracting State prior to the entry into force of this Agreement, the period of detachment or self-employed activity referred to in paragraph 1 or 3 of Article 7 shall be considered to begin on the date of entry into force of this Agreement.

- 4 この協定の効力発生前に行われた決定は、この協定により確立されるいかなる権利にも影響を及ぼすものではない。
- 5 この協定の適用の結果として、受給者に対し、この協定の効力発生前に権利が確立された給付の額を減額してはならない。

第三十一条 給付の額の改定、権利の喪失及び権利に係る時効

- 1 この協定の効力発生前に決定した給付の額については、この協定の適用により当該給付の額が増加することとなる場合には、受給者の申請に基づいて改定する。
- 2 1に規定する受給者の申請又はこの協定の下で取得される給付を受ける権利の確立に必要な年齢に達している受給者による当該給付の申請が、この協定の効力発生の日から二年以内に行われる場合には、この協定の適用により生ずる権利は、当該効力発生の日に取得される。この場合において、権利の喪失又は権利に係る時効に関する各締約国の法令の規定は、これらの申請には、適用しない。
- 3 2に規定する申請が、この協定の効力発生の日から二年を経過した後に行われる場合には、喪失していない権利又は時効が完成していない権利については、各締約国の法令に従って決定する。

第三十二条 効力発生

この協定は、両締約国が、この協定の効力発生に必要なそれぞれの憲法上の要件が満たされた旨を相互に通告する外交上の公文を交換した月の後三箇月目の月の初日に効力を生ずる。

4. Decisions made before the entry into force of this Agreement shall not affect any rights to be established by virtue of this Agreement.

5. The application of this Agreement shall not, for a beneficiary, result in any reduction in the amount of benefits to which entitlement was established before the entry into force of this Agreement.

Article 31  
Revision, Forfeiture and Prescription

1. The amount of benefits determined before the entry into force of this Agreement shall be revised upon application by a beneficiary if any increase in the amount of the benefits results from the application of this Agreement.

2. If the application referred to in paragraph 1 of this Article or the application for the benefit by a beneficiary at the age concerning the establishment of entitlement to such benefit, which is acquired under this Agreement, is made within two years from the date of entry into force of this Agreement, any right arising from the implementation of this Agreement shall be acquired on that date. The legislation of either Contracting State concerning the forfeiture or the prescription of rights shall not be applicable to that application.

3. If the application referred to in paragraph 2 of this Article is made after two years from the date of entry into force of this Agreement, the rights which are not subject to forfeiture or which are not prescribed shall be determined subject to the legislation of each Contracting State.

Article 32  
Entry into Force

This Agreement shall enter into force on the first day of the third month following the month in which the Contracting States shall have completed an exchange of diplomatic notes informing each other that their respective constitutional requirements necessary for the entry into force of this Agreement have been fulfilled.

ルクセンブルクとの社会保障協定

第三十三条 有効期間及び終了

有効期間  
及び終了

1 この協定は、無期限に効力を有する。いずれの締約国も、外交上の経路を通じて他方の締約国に対し書面によりこの協定の終了の通告を行うことができる。この場合には、この協定は、終了の通告が行われた月の後十二箇月目の月の末日まで効力を有する。

2 この協定が1の規定に従って終了する場合には、この協定の下で取得された給付を受ける権利及び給付の支払に関する権利は、維持される。

3 両締約国は、2の規定に従うことを条件として、この協定の終了の日までに有していた両締約国の法令による保険期間の取扱いについて相互に協議する。

末文

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を受けてこの協定に署名した。

二千十四年十月十日に東京で、英語により本書二通を作成した。

日本国のために

城内 実

ルクセンブルク大公国のために

エティエンヌ・シュナイダー

Article 33  
Duration and Termination

1. This Agreement shall remain in force for an indefinite period. Either Contracting State may give to the other Contracting State, through diplomatic channels, written notice of termination of this Agreement. In that event, this Agreement shall remain in force until the last day of the twelfth month following the month in which the termination was notified.

2. If this Agreement is terminated in accordance with paragraph 1 of this Article, rights regarding entitlement to and payment of benefits acquired under this Agreement shall be retained.

3. Subject to paragraph 2 of this Article, both Contracting States shall consult each other how to deal with the periods of coverage which have been completed under the legislation of both Contracting States by the date of the termination of this Agreement.

In witness whereof, the undersigned, being duly authorized by their respective Governments, have signed this Agreement.

Done at Tokyo on the tenth day of October, 2014 in duplicate in the English language.

For Japan:

城内 実

For the Grand Duchy of  
Luxembourg:

Étienne Schneider

（参考）

この協定は、ルクセンブルクとの間で、年金制度、医療保険制度等への加入に関する法令の適用調整及び年金制度において保険期間の通算を行うことについて定めるものである。